

水素の研究情報

水素が慢性腎臓病の悪化やパーキンソン病の進行を抑制する可能性を発見 (英国科学誌「Scientific Reports」に、2020年4月3日に公開)

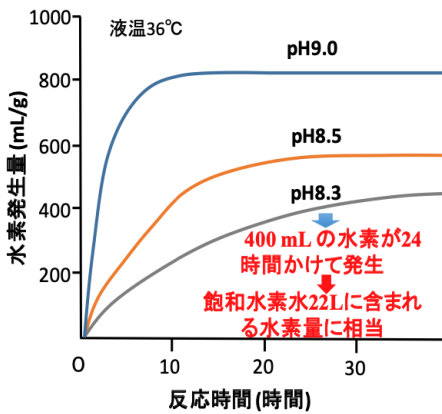


図1 シリコン製剤と弱アルカリ性水溶液との反応による水素発生

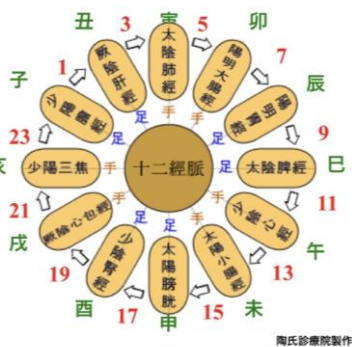
産業科学研究所の小林悠輝特任助教と小林光教授が開発したシリコン製剤を用いて、大阪大学大学院医学系研究科の小山佳久助教、島田昌一教授(神経細胞生物学)と今村亮一准教授(泌尿器科学)は、パーキンソン病や慢性腎臓病の悪化を抑制できる可能性を世界で初めて発見しました。

シリコン製剤は、中性に近い水と反応して多量の水素が24時間以上発生し続けるもので、ラットやマウスを用いる動物実験の結果、シリコン製剤の摂取により細胞の酸化が抑制されると共に、抗酸化力(還元力)が向上しました。さらに、細胞の酸化が大きな原因となっている慢性腎臓病とパーキンソン病が、シリコン製剤の摂取によって防止できる可能性を見出しました。

本研究グループが開発したシリコン製剤は、酸化ストレスを効果的に抑制できるため、酸化ストレスが大きな原因となって起こる疾患で、現在根本的な治療法がないパーキンソン病、潰瘍性大腸炎等、さらに患者数が非常に多い慢性腎臓病(国内に1,300万人)、糖尿病(1,000万人)等の根本的な治療法になると期待できます。さらに、酸化ストレスは老化を促進させます。シリコン製剤によって、酸化ストレスを低減させることで、健康長寿が実現できると期待されます。

睡眠とうつ病の関係

十二経絡流れと時間



陶氏診療院製作



【陶 恵栄(トウケイエイ) 医学博士 医療顧問】

睡眠とうつ病は直接関係あるわけではありませんが、睡眠不足や睡眠リズムの乱れはうつ病になりやすいとされています。2017年、サーカディアン・リズム(体内時計)を生み出す遺伝子とそのメカニズムを発見し、アメリカの科学者3名がノーベル生理学・医学賞を受賞したことは記憶に新しいことです。

じつは、体内時計の概念は2000年前の中国最古の医学書『黄帝内経』にも記されています。十二経路と時間が深くかかわっており、朝食や昼食、睡眠に最も適している時間などが示されています。

わたくしは、これまで多くのうつ病の患者さまを治療してきました。西洋医学の服薬に頼らない治療を基本として、中医学に基づく治療(刮痧(かさ)や経絡の流れをよくしたり、食事指導など)を行っており、よい結果が出ています。

体内時計: 食事 & 造血



陶氏診療院製作

やはりよい睡眠をとることが体内時計を整える一番の方法です。加えて早寝早起き、健康的に食事をするなど生活習慣のリズムを整えることで不眠などが改善します。

最近では新型コロナによる影響およびストレスなどで、うつ病患者が増えています。規則正しい生活習慣を心がけ、バランスのとれた健康的な生活リズムを整えて、快眠快食で楽しい生活を送りましょう。

編集後記

日ごとに秋の深まりを感じる今日このごろですが、いかがお過ごしでしょうか。今回、今年の4月に発表された水素の研究情報を掲載いたしました。水素の抗酸化力が実証され、治療法がない疾患にも有効が期待されるとのことです。秋の夜長にゆっくりとくつろぎながら、水素吸入はいかがでしょう。



MINTECH 水素発生器 MT-A100

MINTECH

株式会社ミンテック

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-24-5

協新ビルディング401号室

TEL 03-5669-0986

FAX 03-5669-0987

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/